

2012
年度

定例カンファレンス

ご案内

——あるべきソーシャルワーカー像を探求する。
こうありたいソーシャルワーカー像を語りながら。——

卒業生を対象とした定例的な演習の機会を提供し始めて3年目となりました。今年も定例カンファレンスを開催することとなりました。本学で社会福祉学を学び、社会福祉現場で現在働く卒業生のみなさんを対象に、毎月一回（概ね第四水曜日）本学内で定例講座を開催します。卒業後おおむね5年程度までのソーシャルワーカーの方々を対象としていますが、その他の方々も広く参加可能です。若き実践家の皆さんが集い、ケース討議を通して、専門家としての腕を磨き、専門家としての自分について語り合う場を提供していきます。一人でも多くのみなさんのご参加をお待ちしています。

初回 **2012年4月25日(水)**

※毎月第4水曜日に同会場にて開催していきます

2012年度
START!!

場 所 同志社大学新町キャンパス溪水館 1階会議室

対 象 本学で社会福祉学を学んだ現任のソーシャルワーカーの方々
(概ね卒後5年程度までの方)

開 場 18:30～(受付開始)

時 間 19:00開始 21:00終了予定 ※途中休憩あり

参加費用 無料 定員 15名

講師 コメンテーター **空閑浩人** (同志社大学社会学部社会福祉学科教授)
ディスカッションリーダー **野村裕美** (同志社大学社会学部社会福祉学科准教授)

●申し込みについて (締め切りはとくにありません。当日参加も可能です)

以下までにあらかじめ参加希望の旨ご連絡くださると助かります。事前連絡なしの当日参加も可能です。
申し込み方法：①お名前、②御所属、③現在の職種、④連絡先(住所・メールアドレス・電話番号)を必ず明記の上、以下までご連絡ください。Eメールかファックスのいずれかの方法をご使用下さい。
(なお、ご記入いただきました個人情報は、本研修会に関するご連絡の目的でのみ使わせていただきます)

〈問合せ及び申し込み先〉

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 定例カンファレンス担当 宛

Eメールアドレス **ynomura@mail.doshisha.ac.jp**

ファックス番号 **075-251-3066**

定例カンファレンスは今年、生まれ変わります！

1 ケースメソッドを 用いたケース討議

「私」の事例を用いた討議を通し、参加者全員が、現実にある問題の解決を擬似的に体験する中で、社会福祉実践に求められる概念や理念を学んでいきます。今年は新たに、参加者にディスカッションリーダーを体験していただき、マネジメント力やプレゼンテーション力をつけていくことにも取り組みます。

2 ケーススタディ

大学時代に学んだソーシャルワークの価値・倫理・知識・技術に日頃の実践の成果を落とし込み、専門知を蓄積していくことを目指します。事例提供は、ビネットやインシデント、エピソード記述などの方法も用いて実践の一部の切り取りから始め、参加者全員で深めていきます。

今年は二本の柱を軸に、定例カンファレンスを進めていくこととなりました。1つ目は、ソーシャルワーカーをしている「私」を主人公にまとめた事例をもとに、「こんな時、あなただったらどうするの?」「私だったら、こうすると思う」という自由な議論を行うケース討議。もう一つは、実際の援助事例についてソーシャルワークの価値・知識・倫理・技術を当てはめて検討し、自分の実践を振り返る(評価してまとめる)ケーススタディです。

どんな人が
参加していますか?

2010年度から始まった定例カンファレンスですが、実にさまざまな社会福祉実践領域の卒業生が集まってきます。医療機関で働く医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、福祉事務所や保健所など行政分野で働く社会福祉士、障害者福祉施設、児童福祉施設、高齢者福祉施設で働く指導員、社会福祉協議会の職員など、実にさまざまです。府パーソナル・サポートセンター相談員など、時代の最先端をいく就労支援サービスに関わる卒業生の参加もありました。この定例カンファレンスでは、むしろ、分野を問わず、分野や立場の多様性から生まれる学びを大切にしています。

毎回何人くらい
参加しますか?

毎回平均12名~13名程度が参加しています。多少のメンバーの出入りはありますが、これまでに58名の現任のソーシャルワーカーが集った実績を残しています(2010~2011年度実績)。仕事の関係で毎回出席することは難しいかと思いますが、なるべく継続して参加して下さることを望みます。

定例カンファレンスは
京都だけで
開催されるのですか?

定例開催のカンファレンスは、京都の同志社大学内の会場で実施します。しかし、卒業生からのリクエストがあり、これまでに大阪・天満、西梅田、茶屋町等の会場に出張してカンファレンスを行っています。京都カンファレンスには平日どうしても参加できない奈良・大阪・兵庫の卒業生の20名以上が参加しました。日頃ケース討議に慣れ親しんでいる京都カンファレンスメンバーも参加し、討議をリードしてくれました。2012年度も、この出張カンファレンスを2~3回程度予定し、卒業生の交流の場づくりに取り組んでいきます。

単なる同窓会ではなく。
卒業してもいつでも自分の席があるラウンジのような場に!

(上版「カタリバという授業」英治出版より引用)

領域や分野ごと、職種ごとの勉強会や事例検討会、研修会はたくさんあります。この定例カンファレンスでは、卒業生同士が集い、安心して学べる場を目指しています。さまざまな経験年数、経歴、多様な分野ではたらく社会福祉の実践家たちが討議する中で、経験や意見・考えの違いを披露しあいます。ここから個々に学びとり、自分らしい専門職像を作り上げていくことを目指しています。

活動はホームページで覗けます。グーグルなど検索エンジンで「定例カンファレンス」で検索してみてください。